


募集・求人
**生活排水処理総合基本計画
パブリックコメント募集**

市では、県が実施する生活排水処理施設整備構想の見直しに合わせて、東松山市生活排水処理総合基本計画の見直しを進めています。計画案を公表しますので、ご意見をお寄せください。

公表期間 2月2日(月)～24日(火)

公表場所 市野川浄化センター、上下水道庁舎、市民情報コーナー、各図書館、各市民活動センター
※市HPからダウンロードできます。

対・市内在住・在勤・在学の人
・市内に事務所・事業所がある個人・法人・団体及び職員
・本案に関して利害関係がある個人・法人・団体

提出方法 公表場所にある意見書に必要な事項を記入し、2月24日(火)までに直接、FAX、又は郵送で〒355-0033 山崎町22-1(市野川浄化センター管理棟2階)環境センターへ(消印有効)。



環境センター 市HP

申・問 環境センター
☎24-2888 FAX 24-8367

令和8年度「文化芸術推進事業」募集

市内で行われる魅力ある文化芸術事業を募集します。採択された事業には、実施経費の一部を補助します。

対文化芸術活動を行う団体

補助上限額 1事業につき18万円
申・問 2月6日(金)～3月6日(金)に直接、又は郵送で〒355-8601 松葉町1-1-58生涯学習課へ。

☎21-1431 FAX 23-2239

※募集要項は生涯学習課にあります。また、市HPからダウンロードできます。


健康
みんなで健康マイスター養成講習を受講しませんか?

「みんなで健康マイスター」とは、健康づくりの知識を身につけ「健康マイスター(名人)」として仲間にも情報を発信する取組です。好きな時間に興味がある分野を受講できます。健康マイスターとなって、みんなで健康な毎日を過ごしませんか?

受講分野 健康に関する7つの分野(健康づくり全般・食事・身体活動・生活習慣・女性の健康・熱中症・感染症)

受講方法 オンライン

問 健康推進課

☎24-3921

FAX 22-7435



県HP

高齢者・福祉
令和7年度いきいきバス・ポイント対象事業

対象事業に参加して会場の受付又は担当課窓口で「いきいきバス・ポイントカード」を提示するとポイントが付与され、貯めたポイントを地域通貨「ばたん圓」と交換できます。

対市内在住の65歳以上の人

ポイント付与期間

2月28日(土)まで

ばたん圓交換申込期間

3月16日(月)まで

※申込みは年度内1回に限ります。

※申込み忘れのないようにご注意ください。

今月号掲載の対象事業 ページ

社会教育講座 「箭弓稻荷神社の絵馬と浮世絵」 17

問 高齢介護課

☎21-1406

FAX 22-7731



市HP

**東松山市×カーブスジャパン
共催からだの衰え度チェック**

日3月10日(火)午前9時30分～午後5時(予約時に時間調整)

場市民文化センター

対市内在住の人

定36人(申込順)

内バランスチェック、太ももの筋力チェック、握力チェック、血流チェック、プチレッスンアドバイス(目安時間1人30分)

持動きやすい服装

申・問直接又は電話で高齢介護課へ。

☎21-1406 FAX 22-7731


やさしい成年後見教室

日3月1日(日)午後1時～4時30分

場ウェヌタ川越

対市民・関係団体職員

定40人(申込順)

内成年後見制度及び遺言等の周辺制度の理解と知識の習得のため、公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート埼玉支部による講演、グループワーク、希望者に対する個別相談会を実施します。

申2月12日(木)～25日(水) 午前10時～正午、午後1時～4時(土・日曜日、祝日を除く)に電話で公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート埼玉支部へ。

☎048-845-8551

問社会福祉課

☎21-1455 FAX 24-6066

市民病院・ワンポイントクリニック
緑内障は“視野が狭くなる”病気～早期発見がいちばん大切～

ふじみやたいし
眼科医師 藤宮大志



緑内障は、目の奥にある視神経がゆっくりと弱っていく、見える範囲(視野)が少しずつ狭くなる病気です。視神経はカメラのフィルムのような大事な部分で、一度傷ついてしまうと元に戻すことができません。日本において、緑内障は失明の原因の中で最も多く、決して珍しい病気ではありません。40歳以上の日本人では、約5.0%、つまり20人に1人が緑内障であるとされています。

「緑内障は怖い病気なのでは…」と感じる方もいると思いますが、実際はゆっくりと進行する方が多く、早く見つけて適切にケアすれば、普段の生活を長く保つことができます。厄介なのは、初期にはほとんど自覚症状がないことです。視野が少し欠けても脳が自然に補正してしまうため、気づかないまま症状が進行してしまうことがあります。「見えているつもり」でも、実際には見えない部分が生じていることがあります。失われた視野は戻りませんが、早期発見によって進行をゆっくりにしたり、抑えることができるのです。そのため、症状が出てから受診するのではなく、困っていないうちに定期的にチェックすることがとても大切です。

緑内障に関する検査では、眼圧を測ったり、視神経の形を観察したり、必要に応じてOCT(網膜の断層写真の検査)や視野検査を行います。40歳を過ぎるとリスクが上がるため、年に1回程度の検査がおすすめです。特にご家族の中に緑内障の方がいたり、強い近視の方がいたりする場合は、より早めのチェックをおおすすめします。

日常生活で「見づらい」「端が暗い気がする」などの違和感があっても、疲れのせいだと思いがちですが、そんな時こそ一度検査を受けておくと安心です。目は生活を支える大切なパートナー。早めのチェックが未来の“見える力”を守ります。人間ドックで眼科の検査を行う医療機関もありますので、人間ドックを受ける方は検査項目を確認してみてください。

「私たちの心はいつも患者さんのために」をモットーに市民から信頼され、選ばれる病院を目指しています。市民病院HPでは、病院の取組や特徴などを詳しく紹介していますので、ご覧ください。



市民病院HP

休日当番医

診療時間 午前9時～午後5時 事前に電話相談をして受診

2月	医療機関名	診療科目	所在地	電話番号
11日(祝)	中村産婦人科	産婦人科	小川町大塚1176-1	☎72-0373
23日(祝)	ほしこどもおとなクリニック	小児科、内科、アレルギー科	上野本1226-1	☎24-0753

※休日当番医のほかにも、比企地域には日曜日に診察をしている医療機関があります。日曜日に診察している医療機関は、市HPで確認してください。



市HP

休日・夜間診療

事前に電話相談をして受診

名称	日時(診療時間)	施設・電話番号
休日夜間急患診療所	月～土曜日午後5時～11時、日曜日、祝日前9時～午後11時	東松山医師会病院☎22-2822
休日夜間急患診療所	日曜日、祝日前9時～午後11時30分	保健センター☎24-3920
比企地区こども夜間救急センター(対象は原則として満15歳以下)	月～金曜日(祝日、年末年始は除く)午後8時～午後11時30分	東松山医師会病院☎22-2822

埼玉県AI救急相談

チャットで気軽に相談できます。ぜひご利用ください。



県AI救急相談

埼玉県救急電話相談

小児・大人共通

☎#7119

(又は048-824-4199)

毎日24時間対応

問健康推進課

☎24-3921

FAX 22-7435

